

### 初のICT 出前授業

中部i-Construction研究会(事務局・中部地方整備局企画部施工企画課)所属のICTアドバイザーによる企画の下、浜松市立初生小学校6年生を対象と



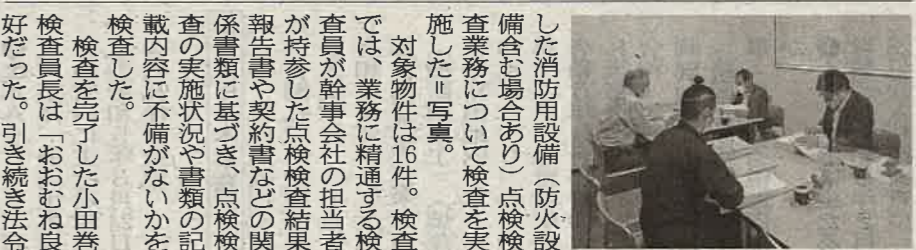
児童らがICT建機に試乗した

したICT出前授業が行われた。フジヤマ(浜松市中区)とアグアト(同北区)が主催し、不二総合コンサルタント(同北区)、シーティーエス浜松支店(同東区)、コマツカスターマールサポート中部カンパニー(静岡市駿河区)、白鳥建設(静岡市葵区)などが協力した。出前授業は同会初の試み。当日は児童の目の前にアルドラーや油圧ショベル、ローラーなどのICT建機がずらりと並んだ。3次元設計データに基づき「魔法のように」正確に施工するICT建機を目の当たりにし、児童らは「ICTがあれば何でもできそう」と目を輝かせた。また、ドローンやレーザーキャナ、MMSによる3次元データ取得などの測量・計測

技術についても実機を見せながら解説。「建設の仕事は規模が大きくて、新しい技術もたくさんあるので未来が楽しみになる」と話す児童もいた。企画に携わったICTアドバイザーの長谷川翔大氏(フジヤマ)は「ICTを活用した土木の仕事に興味を持ってもらうきっかけになればうれしい」と活動を振り返った。

### 官公需受注検査を行う

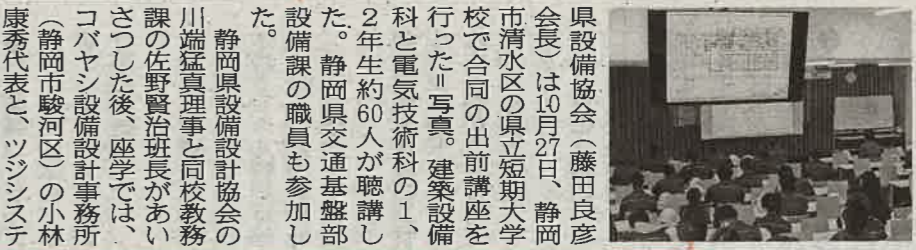
県消防設備保守点検検査協組



順守の点検検査に努められたい」と総括した。毎年、年2回実施される(前期は書類・後期は現場)検査は、国から官公需適格組合の認定を受けた県知事認可の協同組合として法律(官公需法)に基づき実施されるもの。発注官庁による点検検査実施報告の確認に、法律に基づく検査実施が加わった安全・安心サービスの提供は、県民の生命・財産を火災から守る心強い「県民セーフティネット」となっている。

### 県立短大で 合同出前講座

県設備設計協と  
県設備協



14日にE A 21  
静岡県大会  
環境資源協会  
静岡県環境資源協会は、14日午後1時30分から、静岡市駿河区のグラウンドで「エコアクション21静岡県大会」を開く。「E A 21の取り組みによる脱炭素経営・SDG S等への対応(仮)」の演題で同協会の平井一之専務理事が、「金融機関から見る環境経営の必要性について(仮)」の演

### 地域 東部地区

### 三建 現地合同調整所 運営訓練に参加

三建建設業協会(小野徹会長)は、国土交通省沼津河川国道事務所が実



パトロール結果を  
報告する会員

地合同調整所運営訓練に参加し、災害時の道路パトロール手順や連絡体制などについて確認した。訓練には、国、県、市、自衛隊、消防、警察に加えて地元建設業として同協会が参加。南海トラフ巨大地震の発生時に、道の駅伊豆月ヶ瀬が現地前線拠点となる想定で、災害対策本部や現地の立ち

上げ検証、道路パトロールと道路啓開の手順などを確認した。同協会は、会員それぞれがあらかじめ定められた緊急輸送路をパトロールし、各地の被害状況を対策本部に報告する訓練を行った。また、現地合同調整会議に初頭から出席し、被害状況を各機関で共有する訓練も実施した。

訓練後、同協会の土屋龍太郎土木・災害対策委員長は「災害時、対策本部との連絡方法が大きな課題だった。道の駅伊豆月ヶ瀬が前線拠点になれば、道路啓開などの活動がより迅速的確になる。訓練で得た情報、経験を会員企業のBCPに反映し、初動の対応力の強化につなげていきたい」と話した。

### 三島南高生徒が 静コンを見学

15人受け入れ

静岡コンサルタント(三島市、森崎祐治社長)は10月26日、企業見学ツアーで三島南高校1年生15人の訪問を受け入れた



見学会では、同社社員が建設コンサルタント業界の概要や、業務と地域との関わりなどについて説明した他、社内を案内しながら各部署の業務内容などを紹介した。同社では、若い世代に仕事のやりがいや業界の役割を知ってもらおうと、学校の職場体験学習などにも協力している。

### 北上中の生徒が 職場体験学習

静岡コンサルタント

静岡コンサルタント(三島市、森崎祐治社長)は10月26、27日の2日間、北上中学校の職場体験学習で、生徒1人を受け入れた。1日目は建設コンサルタント業界や同社の仕事内容などについて学んだ他、同社が携わった土木構造物の見学や、ドローンを体験した。2日目は同社社員の指導の下、CAD・

### 地域貢献 東部地区

### 山王公園で 清掃活動

大岡建設工業

大岡建設工業沼津市内野野社長は、地域貢献活動として、沼津市平町の山王公園で清掃活動を実施した。写真。社員12人が参加し、落ち葉やごみ拾い、除草などの清掃活動を行った。参加者は「散歩していた

### 献血に56人協力 土屋建設と ろっぽう会

土屋建設伊豆の国市、土屋龍太郎社長と土屋建設協力会ろっぽう会(古藤田博澄会長)は、同



社敷地内駐車場、移動採血車を停車して献血活動を行い、56人が献血に協力した。写真。

土屋建設の土屋昭専務は、「例年実施している献血事業だが、今日は提供者でもいつ身近で必要になるかわからない。『できることは全部やる』を言葉にさらなる地域貢献に努めていく」と話していた。なお、献血を申し込んだ人数は会員、社員、市民など計81人だった。

ムアデザイン掛川事務所(掛川市)の清水映吾所長が同校の給排水衛生設備や電気設備などを解説した。その後、同校で施工中

の多目的実習棟新築工事を担当する東海電気工業所(静岡市葵区)と鎌田配管工事店(静岡市駿河区)の現場を見学した。